



◆ 林業 いばらきの今 ～現場で働く女性たち～

メインテーマアトラクションは『Forest Work Labo Studio』と題し、3部構成で行いました。まずは、茨城県の林業を最前線からレポート。機械化により女性でも働きやすくなった林業の伐採現場で働く椎名琴絵さんとその建材を使う側の立場から建築家の高橋里菜さんに御登壇いただきました。



## LIVE STREAMING』

## ◆いばら木の旅 ～木造建築と茨城の魅力～

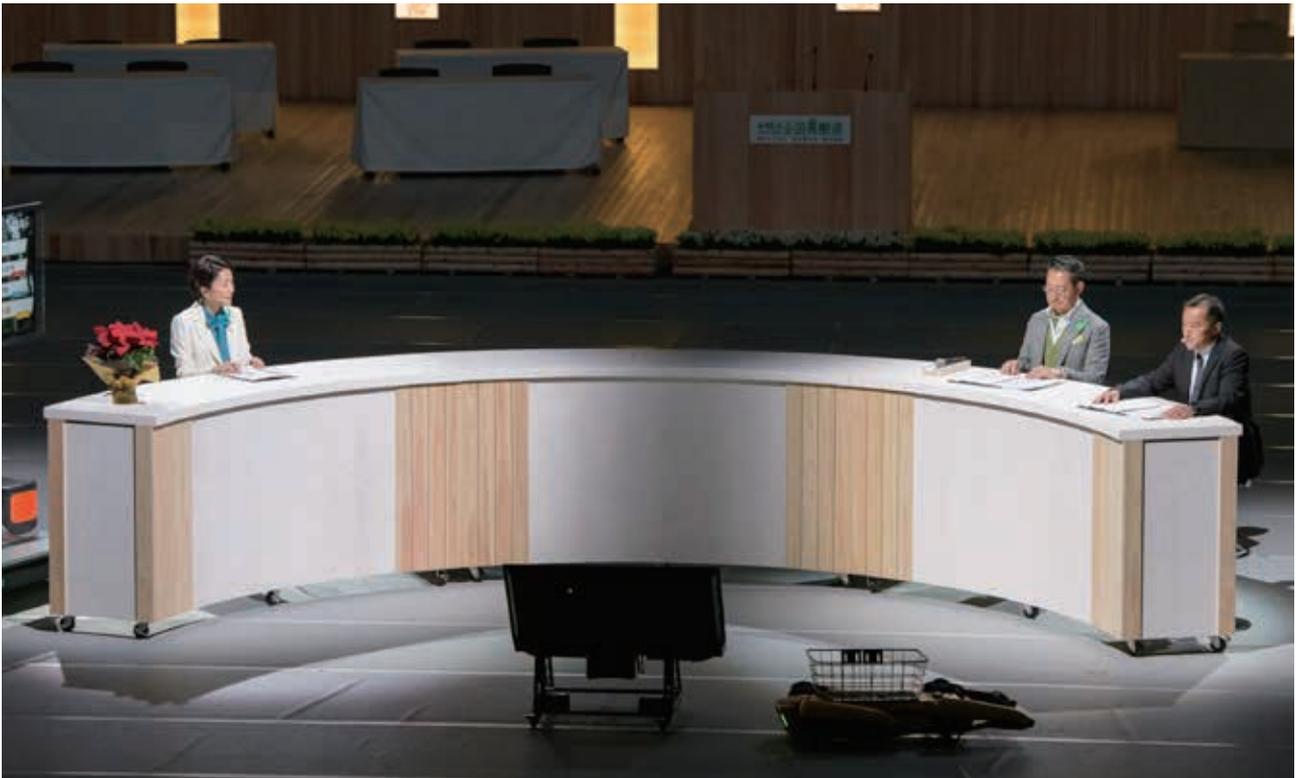
続いて、木造建築の素晴らしさと茨城県の魅力の一端をレポートしてくれたのは俳優の渡部豪太さん。筑波山麓の八郷（石岡市）に古くから伝わる茅葺の家、江戸時代の工法でそのまま再現された水戸城大手門、そして全国から見学者が訪れる大規模木造建築物として新築された太子町庁舎を巡る旅にでかけてくれました。



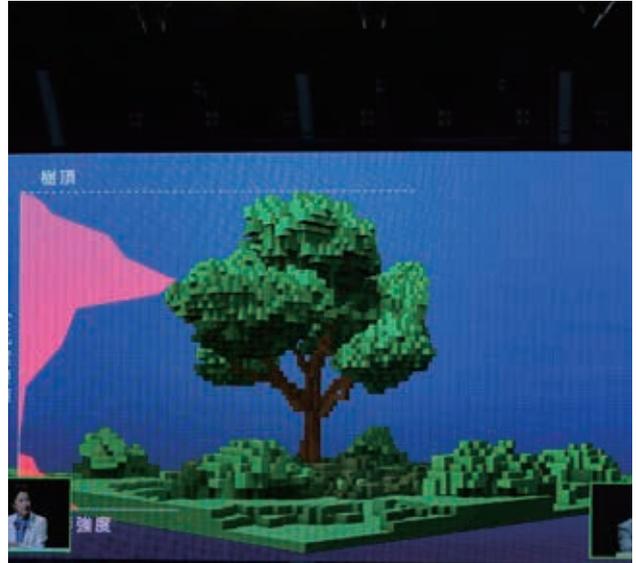


◆ 林業の未来 ～先端の技術と研究～

そして最後は、茨城県から発信されていく未来の林業と題して、森林総合研究所（つくば市）で林業生産技術研究ディレクターで農学博士の宇都木玄さんと宇宙飛行士で科学者の毛利衛さんに御登壇いただきました。お話しの内容は、分子レベルでの木材の活用から、衛星から森林の管理が行えるようになる未来まで、多岐にわたりました。



LIVE STREAMING』





## 大会宣言



茨城県立水戸第一高等学校  
附属中学校  
樋之口 尚史

公益社団法人 国土緑化推進機構  
理事長  
濱田 純一

茨城県立結城第一高等学校  
鶴見 彩夏

国土の保全や水源の涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全など多面的機能を発揮している森林を、社会全体で守り育てていくことは、私たちに課せられた大きな使命である。

豊かな緑と水に恵まれた「全国緑化行事発祥の地」であるここ茨城県で開催された第46回全国育樹祭にあたり、「誰かじゃない 僕が育てる 緑の日本」という大会テーマの主旨を踏まえ、豊かな森林を次代に引き継いでいくことを目指し、次のことを宣言する。

- 私たちは、森林の有する多面的機能が一層発揮されるよう、「国民参加の森林づくり」を積極的に推進します。
- 私たちは、森林の整備や木材の積極的な利用の重要性を理解し、「循環型社会」の実現を目指した取組を進めます。
- 私たち一人ひとりが、森林・林業や木材産業に関する知識と技術の習得に努め、緑豊かなふるさとの未来を切り拓きます。

令和5年11月12日  
第46回全国育樹祭



## 次期開催県あいさつ



福井県知事  
杉本 達治

ただいま御紹介にあずかりました、福井県知事の杉本達治でございます。

本日ここに、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、第46回全国育樹祭がこのように盛大に開催されましたことを、心からお喜び申し上げます。また、大会の開催にあたり、御尽力されました茨城県のみなさまに深く敬意を表します。

さて、次期開催地である福井県は、緑豊かな山々と日本海に囲まれており、雪深い福井の山地からの雪解け水などによって、良質で豊富な水資源にも恵まれております。この豊かな自然の中で育まれた山や海、里の幸、そして、これらの食材でつくる郷土料理や地酒はどれも絶品で、福井ならではの風光明媚な景色や壮大な歴史・文化を体感できる観光名所とともに、本県の大きな魅力となっております。

本県の林業につきましては、収益性の高い森林において、森林の所有と経営を分離して、主伐・再造林・保育を進める、ふくい型林業経営モデルによる「大きな林業」と、簡易な機械を使った木材生産と副業を組み合わせた、自伐型林業による「小さな林業」の両輪での取組みを、本県独自の「Fukui Forest Design」として進めております。

また、建築士などの関係団体と連携して、企業による県産材の利活用を支援し、民間施設における持続的な需要を確保するほか、平成21年の第60回全国植樹祭を契機に「緑と花の県民運動」を展開しており、県全体で森林資源の循環利用に取り組んでいるところです。

こうした中、来年の秋、「育てよう 幸せ芽吹く 緑の大地」を大会テーマに、福井県で44年ぶり2度目となる第47回全国育樹祭を開催いたします。お手入れ行事を、全国植樹祭の会場であった、福井市の「一乗谷朝倉氏遺跡」で、式典行事を鯖江市・越前市にある「サンドーム福井」で開催し、未来につながる林業や森林づくりの新たな取組み・挑戦を発信してまいります。

来年の3月16日には、北陸新幹線が敦賀まで開業し、より速く、より便利に福井へお越しいただけるようになります。全国各地から、たくさんのみなさまに御来県いただきますよう、心よりお待ち申し上げます。



## 閉会のことば

---



水戸市長  
高橋 靖

本日ここに、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、第46回全国育樹祭記念式典行事が滞りなく無事終了の運びとなりました。御協力をいただきました、すべての皆様方に心から御礼と感謝を申し上げます。また、改めまして、この茨城・水戸の地にお越しをいただきました全国の皆様方、本当にありがとうございました。心から歓迎と御礼を申し上げます。

この水戸市も、偕楽園や千波湖など、豊かな自然環境に恵まれております。この環境を次の世代に、しっかり繋いでまいりたいと考えております。また、木材利用を促進し、循環型社会の構築にも努めていきたいと考えております。

この全国育樹祭を契機といたしまして、森林の持つ多目的機能をもっと多くの方々に理解され、緑を大切に守っていくこの機運が、茨城から全国に広がっていきますよう心からお祈りを申し上げ、閉会あいさつとさせていただきます。



## 秋篠宮皇嗣同妃両殿下 御退場

秋篠宮皇嗣同妃両殿下は、緑の少年団にお声がけした後、式典会場を後にされました。





## エピローグ 『CLOSING NEWS』

### ◆茨女：ライブステージ

エピローグは『CLOSING NEWS』と題して、茨城に所縁のある女性アーティストで結成された『茨女』のライブステージからはじまりました。演奏は津軽三味線の日立市出身・鈴木菜瑠美さん、ギター&ヴォーカルの石岡市出身・高田梢枝さん、ピアノはつくば市出身の藤井瑛子さん、そしてハープはひたちなか市出身の宮田悠貴さんでした。



◆ NICODAN：ダンスパフォーマンス

続いて茨城県立水戸第二高等学校ダンス部『NICODAN』が未来へのメッセージと華麗なダンスを披露してくれました。2年生 20名で構成されたNICODANのパフォーマンスは見る者を引き付ける力強さがありました。





## エピローグ 『CLOSING NEWS』

### ◆石井竜也：緑の山、浪漫飛行

最後に登場してくれたのは北茨城市出身で日本を代表するポップミュージシャンであり音楽プロデューサー、そして芸術家、映画監督としても活躍する石井竜也さん。潮来市で平成17年に開催された第56回全国植樹祭のテーマソング「緑の山」の作詞・作曲も担当。エピローグではその「緑の山」を熱唱してくれました。



◆フィナーレ：出演者によるパフォーマンス

最後は石井竜也さんのヒット曲「浪漫飛行」に乗せて、ここアダストリアみとアリーナをホームに戦うプロバスケットボール「Bリーグ」に所属する茨城ロボッツのダンスチーム RDTと公式マスコットキャラクターのロボスケ、そして1年生 28 名も加わった NICODAN にも登場してもらいエピローグ出演者によるパフォーマンスで、来年の全国育樹祭開催地である福井県に向けて熱気あふれるステージを披露しました。

